



2005.7.15
三国川ダム管理所発行

ダムっ湖



さぐくん



りっちゃん

しゃくなげ湖まつり

7月24日(日)開催

「しゃくなげ湖まつり」は森と湖に親しむ旬間(7月21日～31日)の行事の一環として三国川ダム周辺で毎年開催しています。

地下通路(監査廊かんさろうといって夏でも12度)及び4F操作室見学、ダム湖では巡視船、Eボート、カヌー、ラフティング(要予約)の体験試乗もできます。湖面での涼風を体感して下さい、とっても気持ち良いですよ!

また野外ステージでは地元の方々熱演による歌舞伎かぶきや伝承芸能、小学生の鼓笛隊演奏こてきたいえんそう、よさこいソーラン、大正こと琴。もちろん人気の魚のつかみ取り、木工教室も行っておりますので、大勢の皆さんのお越しをスタッフ一同お待ちしております。詳細は、別チラシ又は事務局 TEL025-774-2200へお問い合わせ下さい。

※この新聞は再生紙を使用しています。

特集

6月28日 梅雨前線豪雨出水

昨年の7月出水を上回る管理開始以降 最大流入量を記録更新するもダムは所期の効果を発揮

去る6月28日、遅れていた梅雨入りと同時に新潟県を襲った活発な梅雨前線により、三国川ダムでも洪水に見舞われ、昨年の7月16～18日出水を上回る管理開始以降最大の流入量を記録更新する大出水に見舞われましたので、その概要をお知らせします。

2年連続、昭和44年8月洪水の2日雨量を上回る

27日昼頃より降り始めた雨は、28日明け方から雨脚が強まり洪水の恐れがあるとの判断のもと、4時40分より洪水警戒体制を発令しました。その後時間15ミリメートル以上の強い雨が降り続き、13時には最大時間雨量25ミリメートルを記録し、連続雨量は254ミリメートルに達しました。この連続雨量は、ダム建設の契機となった昭和44年8月洪水(11・12日の2日雨量198.5ミリメートル)を超える記録です。

ダムへの流入量は、13時30分に毎秒524.8立方メートルを記録し、昨年の7月16～18日出水(毎秒489.5立方メートル)を上回り平成6年の管理開始以降最大となりました。

ダムからの最大放流量は毎秒72.6立方メートルであり、毎秒452.2立方メートルの洪水調節(※1)を行いました。ダムに貯め込んだ水量は、約1,145万立方メートルで、昨年の7月16～18日出水の約2倍に達しました。

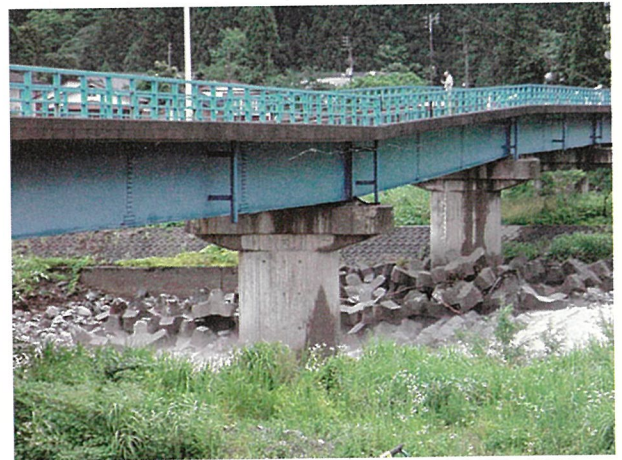
下流河川の水位を低減し、被害軽減に大きな効果を発揮

今回の洪水調節により下流の魚野川では小出観測所地点(魚沼市小出地先)で、約40cmの水位の低減効果があったものと推定されます。

また、三国川では五十沢川合流点下流の深沢橋地点で、約2mの水位の低減効果があったものと推定されます。

深沢橋では、橋脚が沈下する被害がありましたが、被害軽減に大きな効果を発揮したと思われます。

この間、ダム本体及び各設備では特段のトラブルもなく、無事所定の効果を発揮することができました。



深 沢 橋

※1 洪水調節量=(最大流入量524.8立方メートル)-(最大放流量72.6立方メートル)

雨量について

本文中の雨量については、昭和44年8月洪水は東北電力(株)五十沢発電所のデータ、それ以外は全てダムの流域平均値です。

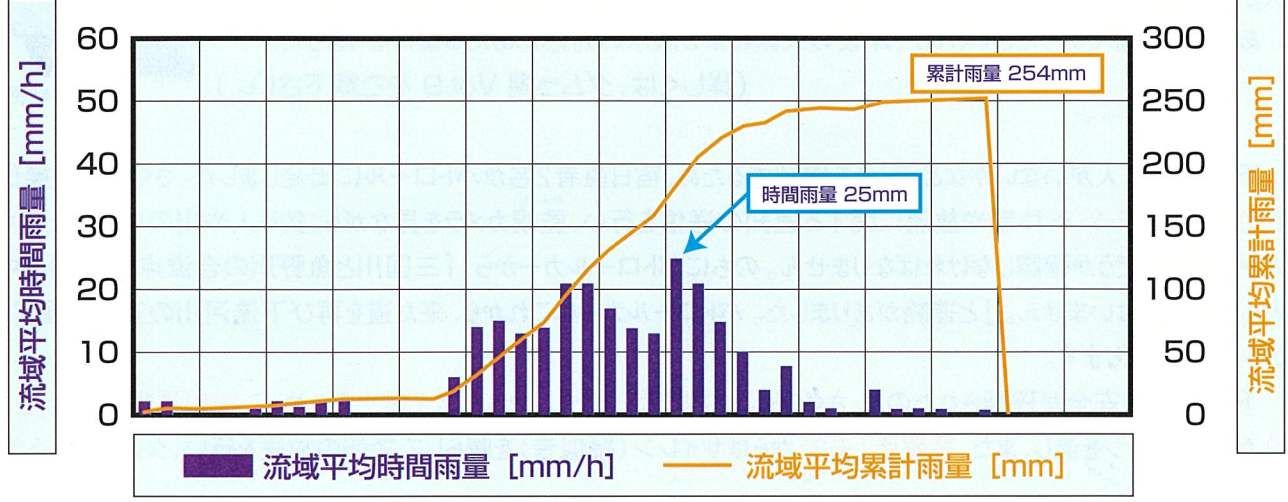




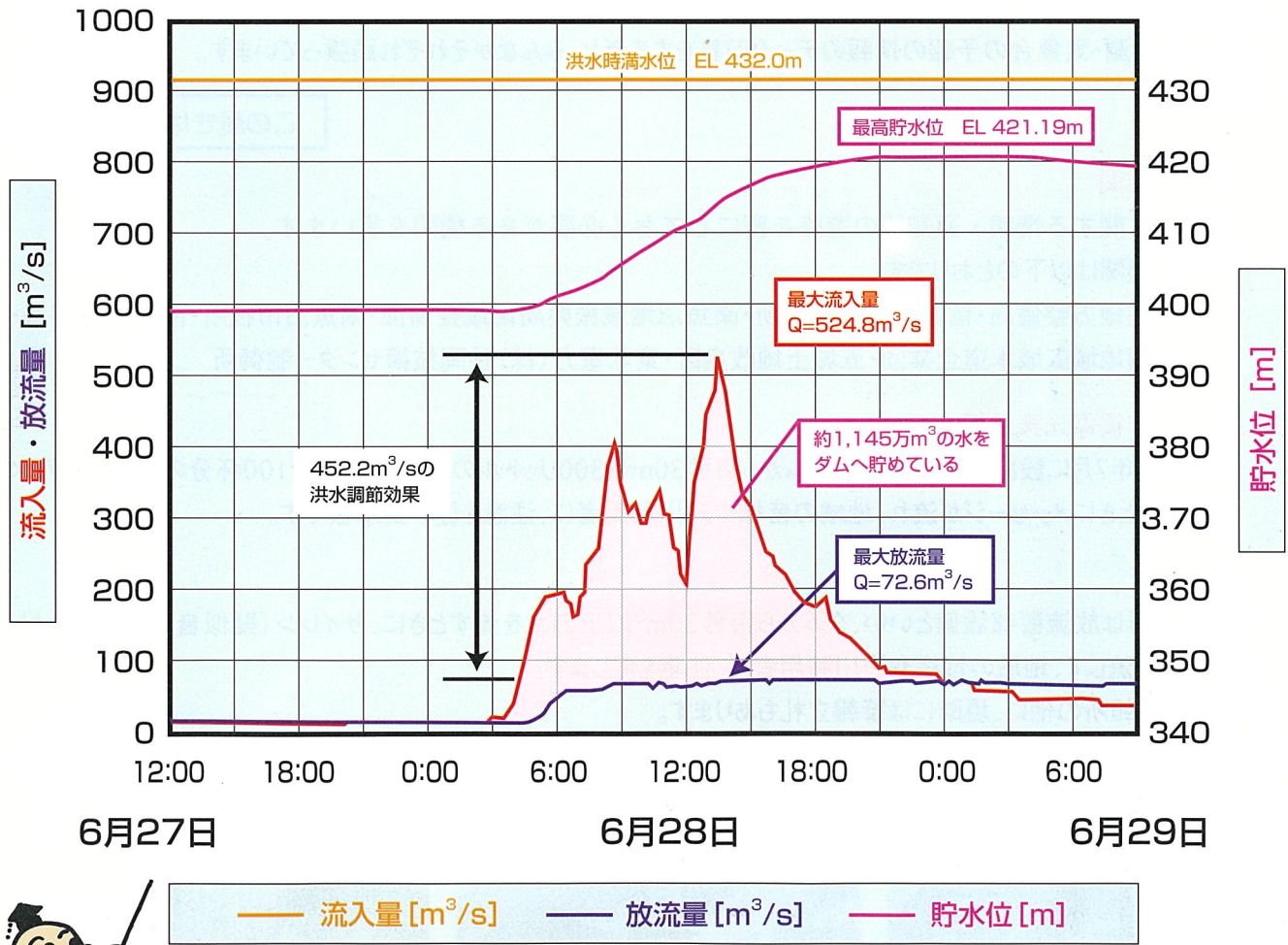
平成17年6月28日 三国川ダム出水記録



雨量データ



洪水データ



※1,145万立方メートル=小中学校のプール4万杯以上



雨の夜

パート2



さぐり博士

※ 前号までのあらすじ

三国川ダム管理所では、毎年6月1日から9月30日までの洪水が起こりやすい期間中は、洪水を防ぐため、24時間いつでもダム・ゲート等の操作を行えるように当番制で対応しています。ある日の当番であったさぐくんが、深夜の大雨による洪水の対応にあたる事になりました。

(詳しくは、ダムっ湖 Vol.9 をご覧下さい。)

下流河川に人がいないかなど、安全を確認するため、宿日直者2名がパトロールに出発しました。さぐくんも、操作室で**関係機関(※1)**へ体制や放流に関する通知の送信を行い、監視カメラを見ながら、釣り人や川の中に入っている人がいないかどうか確認しなければなりません。のちにパトロールカーから、「三国川と魚野川の合流点まで、川の中に入っている人はいません。」と連絡がありました。パトロールカーはこれから、来た道を再び下流河川の安全を確認しながらダムまで戻ります。

下流河川の安全が確認されたので、さぐくんは規則に従ってダムからの水を増やすため、**三国川橋電光表示板(※2)**からメッセージを流し、また、**警報所(※3)**からはサイレン(疑似音)を鳴らして警報の放送を行い、ダムのゲート操作にかかります。

操作室では、洪水が大きくなるにつれ関係機関への連絡も増え、3人ではとても対応出来なくなりました。さぐくん達は管理所に働いている人全員に管理所に来るように電話を始めました。

しばらくして、管理所に働いている人が全員到着。関係機関に連絡する者、ダムのゲート进行操作する者、レーダー雨量で雨域の予測・气象台の予報の情報のデータ収集をする者と、みんながそれぞれ頑張っています。

この続きは、次号へ…

※1. 関係機関

放流に関する情報・通知等の連絡を密にしておく必要がある機関を言います。関係機関は以下のとおりです。

◎北陸地方整備局・信濃川河川事務所・南魚沼地域振興局地域整備部・南魚沼市役所・南魚沼警察署・魚沼地域広域水道企業団・五城土地改良区・東北電力(株)長岡技術センター制御所

※2. 三国川橋電光表示板

平成5年7月に設置された施設で、ダムから毎秒 30m^3 (300リットルのお風呂の浴槽^{よくそう}100杯分の水)以上の水を流すときにメッセージが流れ、地域の皆様や河川利用者^{うなが}に、注意を促す表示板です。

※3. 警報所

警報所は放流警報設備といい、ダムから毎秒 30m^3 以上の水を流すときに、サイレン(疑似音)や放送により警報を流して、地域の皆様や河川利用者^{うなが}に、注意を促します。

また警報所の他に、堤防には警報立札もあります。



三国川橋電光表示板



警報所



警報立札



洪水対応演習を実施

平成17年5月12日に洪水対応演習を実施しました。
この演習は、洪水時における関係機関への通知、下流住民への警報、ダム操作を的確に行うために演習を行い、洪水時のダム管理に万全を期することを目的としています。



洪水情報を「FMゆきぐに」で発信！

三国川ダム管理所では、「FMゆきぐに」と災害情報放送の契約を結びました。

この放送の目的は、三国川ダムで洪水調節が必要となった場合、速やかに河川利用者及び周辺地域住民の皆様に情報を提供するものです。

放送の内容は、三国川ダムへ流れ込む水の量や今後のダム操作状況をお知らせしたり、ダムの水を調節して下流に流す際に川の中に入っている方へ、川から上がっていただくお願いなどを「FMゆきぐに」(76.2MHz)の放送を使って、皆様に速やかに情報提供します。

この放送を通じて、南魚沼地域の住民の皆様及び河川利用者から、防災情報として活用していただければと考えております。



三国川ダムの洪水状況をリアルタイムでお届けします。

百聞は一見に如かず

三国川ダム管理所では、従来からダムについて、よく理解して頂くため、インターネットにより情報配信を行っていますが、昨年の7.13新潟福島豪雨災害では「ダムの放流がこのような被害となった原因の一つだ」という誤解が生じており、依然としてダムに対する理解不足が多く見受けられます。また、災害発生時などにおいて、住民の避難や防災活動等に支障を来す恐れがあることから、当ダムのホームページを従来のダム情報に加え、実際にダムから放流している画像、ダムへの流入量、ダムからの放流量、及びダムの洪水調節量等をリアルタイムで配信を始めました。

下流沿川住民の方々の防災情報収集に当ダムのホームページをお役立て頂き、災害に備えて頂ければ幸いです。

閲覧方法は、インターネットから三国川ダムホームページへアクセスして下さい。

(<http://www.hrr.mlit.go.jp/saguri/>)



減勢池



⑥

えっ!ダムの下に露天風呂があるの?



三国川ダムの下には、なんと露天風呂があります。
 地元の方でも初めて聞いた方もおられるかと思います。
 三国川ダムへ向かい、第二オートキャンプ場を直進すると、「看板」を発見!
 看板の通り進んで行くと…「ありました。」まさにこれこそ露天風呂です。
 脱衣所と石造りの露天風呂だけのシンプルなスタイルの露天風呂について、少しばかり調査する事にしてみました。

この露天風呂は、5月～11月の間、(財)しゃくなげ湖畔開発公社で露天風呂の運営、整備及び維持管理を行っています。

露天風呂に入るには、入口の料金箱に管理費として大人200円、子供100円を入れていただいで入浴されるようお願いいたします。

また、露天風呂はシャンプー・石けんは使えませんので、タオルだけを持参していただいで入浴を楽しんでいただきたいと思ひます。

泉質については、天然温泉ではなくダムの浸透水を使っています。
 天然温泉ではありませんが、常に綺麗に管理されており、雄大な自然を思う存分満喫できます。
 夏の夜、満天の星空を眺めながらこの露天風呂に入るのは最高だそうです。

なお、営業時間は21時までなのでご注意ください。
 皆さんも、三国川ダムやキャンプ場に寄った帰りに、是非立ち寄ってみてはいかがでしょう?



しゃくなげ湖新緑ウォークを開催

5月に開催する予定だった「しゃくなげ湖新緑ウォーク」は例年にない大雪の影響でコースの設定が出来ず、6月5日に日延べになった事をお詫び申し上げます。

しかしながら当日は天候に恵まれ、お孫さんを連れた方や地元以外からの参加者もあって楽しい会になりました。

管理棟前を出発し休憩地の鱒釣り場を目指す途中、野鳥の会の先生の指導もあって、ハチクマ(タカの仲間)やオオルリを見る事が出来ました。

小休止の後、今回のウォーキングの目的でもある花植えですが、キャンプ場の入口から芝桜を100株ほど植えました。

来年、再来年のことを考えると楽しいものがあります。

次の目的地、登山センターまでは対岸の景色もさることながら蝉(エゾハルゼミ)の声を聞きながらの道中、さらに足を延ばし十字峡から虹の滝へ・・・雪のトンネルから吹く風の心地良さ、少し歩くと道の真ん中の大きな雪渓に阻まれ、今回のウォーキングは終了。

登山センターで食べたタケノコ・ワラビの入った山菜汁は最高でした。

しゃくなげ湖畔を楽しむ会では、「しゃくなげ湖まつり」でも楽しいイベントを考えていますので気軽にお出掛け下さい。

またこの度、私共の活動が認められ、緑の百年物語緑化推進委員会理事長より6月12日に表彰されたことを併せて報告させていただきます。

「しゃくなげ湖畔を楽しむ会」福崎様から原稿をいただきました。



編集後記

暑中お見舞い申し上げます。
 うっとうしい梅雨も間もなく明け、いよいよ夏本番!
 三国川ダムの一大イベントはなんと言っても毎年恒例の「しゃくなげ湖まつり」!
 子どもさんの夏休みの自由研究にぴったりなダム見学、地元の伝統芸能紹介、湖上の乗船他盛りだくさんの内容です。さわやかなダム湖での一日をご家族・お友達で思う存分お楽しみ下さい。
 この広報誌「ダムっ湖」もお陰様で第10号を迎えることが出来ました。これからもより内容の充実した紙面づくりに頑張っていきたいと思っております。
 皆様のご意見・ご感想などございましたら編集部までお寄せ下さい。(編集部一同)

◆編集・発行◆

国土交通省北陸地方整備局
 三国川ダム管理所

〒949-6741
 新潟県南魚沼市清水瀬686-59
 TEL (025) 774-3015
 FAX (025) 774-3092
<http://www.hrr.mlit.go.jp/saguri/>



シャッピー